

(第2学年 数学科)

☆学習を進めるに当たって

教科のねらい

- (1) 文字を用いた式について、目的に応じて計算したり、変形したりする能力を養うとともに、連立二元一次方程式について理解し、それを用いる能力を培う。
- (2) 具体的な事象を調べることを通して、一次関数について理解するとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を養う。
- (3) 基本的な平面図形の性質について、観察、操作や実験などの活動を通して理解を深めるとともに、図形の性質の考察における数学的な推論の必要性と意味及びその方法を理解し、論理的に考察し表現する能力を養う。
- (4) 不確定な事象を調べることを通して、確率について理解し用いる能力を培う。

使用 教材	教科書 未来へひろがる数学2(啓林館) 補助教材 完成問題集(三泗中学校数学研究会) 関数テキスト(三泗中学校数学研究会) 図形テキスト(三泗中学校数学研究会) 数学のベーシックマスター(新学社) 志水式 音声計算トレーニング法	持 ち 物	教科書 ノート 完成問題集 数学のベーシック マスター ファイル
学 習 の 進 め 方	《確かな学力を身につけるには》 ○ 学習課題を的確に把握し、課題に対して前向きに取り組む。 ・ 疑問に思ったことや、わからなかったことを解決する努力をする。 ・ 学習課題に対して多面的に観たり考えたりする力をつける。 ○ 自分の良いところを伸ばし、苦手なところにも挑戦する。 ・ わかったこと、解決できたことに自信を持つ。 《家庭学習》 ○ 復習として、授業で習ったところを、ノートやワーク等で確認する。 ○ 宿題・提出物を、期限までに着実に仕上げる。 《定期テスト》 ○ 範囲はテスト発表時に通知する。 ○ 授業中に学習したところを復習しておく。 ○ テスト後には、テスト直しをする。		
学 習 上 の 注 意 等	○ 休み時間に、宿題を机上においておく。 ○ チャイムが鳴るまでに着席し、準備を終え、授業を始められるようにする。 ○ 授業の準備物を忘れない。 ○ 板書されたこと・気づいたことなどノートに工夫してまとめておく。 ○ 先生や友だちの話や発表をしっかりと聞く。 ○ ノート・ワークなどの提出物は、期限を守る。		

☆学習内容および評価について

学 習 計 画				評 価 に あ た っ て		
学期	月	単 元 計 画	試験		評価観点	評価の場面・方法
1	4	1章 式の計算 1節 式の計算 1. 式の加法, 減法 2. いろいろな多項式の計算 3. 単項式の乗法, 除法	中間	数学への関心・意欲・態度	数学的な事象に関心を持つとともに, 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し, 数学を活用して考えたり判断したりしようとする。	・授業中の態度, 発表 ・ノート, ワークへの取り組み ・宿題等の提出物 など
	5	2節 文字式の利用 1. 文字式の利用 2章 連立方程式 1節 連立方程式 1. 連立方程式とその解 2. 連立方程式の解き方				
	6	2節 連立方程式の利用 1. 連立方程式の利用 3章 一次関数 1節 一次関数とグラフ	期末			
7	1. 一次関数 2. 一次関数の値の変化 3. 一次関数のグラフ 4. 一次関数の式を求めること					
2	9	2節 一次関数と方程式 1. 方程式とグラフ 2. 連立方程式とグラフ 3節 一次関数の利用 1. 一次関数の利用	中間	数学的な見方や考え方	事象を数学的にとらえて論理的に考察し表現したり, その過程を振り返って考えを深めたりするなど, 数学的な見方や考え方を身に付けている。	・授業中の態度, 発表 ・ノート, ワークへの取り組み ・宿題等の提出物 ・定期テスト など
	10	4章 図形の調べ方 1節 平行と合同 1. 角と平行線 2. 多角形の角 3. 三角形の合同				
	11	2節 証明 1. 証明とそのしくみ 2. 合同条件を使った証明の進め方	期末			
12	5章 図形の性質と証明 1節 三角形 1. 二等辺三角形 2. 直角三角形の合同					
3	1	2節 四角形 1. 平行四辺形の性質 2. 平行四辺形になる条件 3. 長方形, ひし形, 正方形 4. 平行線と面積	学年末	数量や図形などについての知識・理解	数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則などについて理解し, 知識を身に付けている。	・授業中の態度, 発表 ・ノート, ワークへの取り組み ・宿題等の提出物 ・定期テスト など
	2	6章 確率 1節 確率の意味 1. 確率の意味				
	3	2節 確率の求め方 1. 確率の求め方				